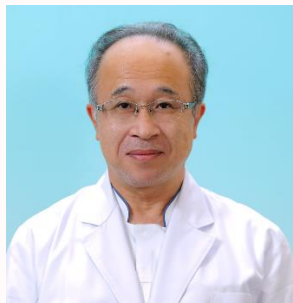


# まがな。

医学講座

川崎医科大学附属病院 乳腺甲状腺外科

## 「反回神経モニタリングを使用した甲状腺手術」



部長（特任教授）田中 克浩

認定医・専門医・指導医

日本内分泌外科学会専門医・指導医、日本甲状腺学会認定専門医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、日本外科学会専門医・指導医、日本マンモグラフィ精度管理委員会読影認定医



### <背景>

神経モニタリングは古くから用いられており、有用性は高く、麻酔がかかった後弱い電気刺激を送り、手足の筋肉の電流をモニター上で確認します。

### <甲状腺手術での大事な神経>

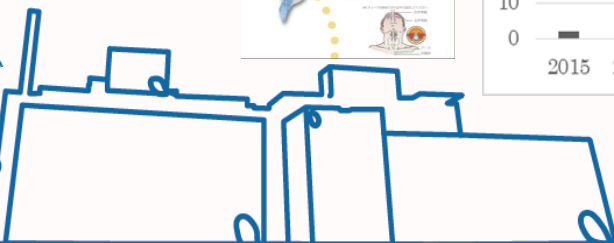
甲状腺手術の場合には反回神経（同側の声帯を動かす唯一の神経）が主に対象となります。手術操作（伸展、圧迫など）により、神経自体を直に損傷していなくても一時的な麻痺がおこることがあり、かすれ声やむせといった症状をきたします。両側の反回神経麻痺では気管切開の処置を要することが多く、今までは神経の健全性は、気管挿管チューブを抜管して初めてわかりました。

### <甲状腺手術での神経モニタリング>

甲状腺手術にも神経健全性モニタリング(nerve integrity monitoring, NIM)と呼ばれる神経モニタリングが応用され始めています。声帯の位置付近に電極がついている気管挿管チューブ（図1）を用い術中に神経刺激用チップで反回神経を刺激し、チューブ電極で声帯の動きとらえ、健全性を確認する方法です。

当科では2015年9月から使用を開始し徐々に使用が増えており（図2）、昨年には最新の装置を購入し、手術に臨むことができます。この装置導入後は両側反回神経麻痺は1例経験したのみと良好な成績となっています。

図1(左) NIM挿管チューブ (Medtronic HomePageより)  
図2(右) 使用症例数



## 乳腺甲状腺外科で対応する疾患

下記疾患もしくは疑いの症例があればご紹介ください

乳腺疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、遺伝性腫瘍（乳腺／甲状腺／副甲状腺）

### 乳腺疾患

悪性疾患：乳癌（原発、再発）、悪性葉状腫瘍など  
良性疾患：乳腺炎・膿瘍（再燃性）、良性腫瘍、女性化乳房症など  
その他：診断困難な症例

### 甲状腺疾患

甲状腺腫瘍（癌、良性甲状腺腫瘍）  
甲状腺機能疾患（バセドウ病、橋本病、プランマー病、亜急性甲状腺炎等）

### 副甲状腺疾患

副甲状腺機能亢進症（原発性、二次性）  
副甲状腺腫瘍（癌、腺腫）

### 遺伝性腫瘍

遺伝性の乳腺腫瘍、甲状腺腫瘍、副甲状腺腫瘍  
当院は平成30年4月に一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構(JOHBOC)が定める「遺伝性乳癌 卵巣癌総合診療基幹施設」に認定されました。

## 医師の動き

### <退職医師>

曾根 照喜	(そね てるき)	放射線科(核医学診療)	部長
高尾 俊弘	(たかお としひろ)	健康診断センター	部長
山中 義之	(やまなか よしゆき)	健康診断センター	医長
柚木 靖弘	(ゆのき やすひろ)	心臓血管外科	医長
宮田 一平	(みやた いっぺい)	小児科	医長
田中 孝明	(たなか たかあき)	小児科	医長
長洲 晶子	(ながす あきこ)	リウマチ・膠原病科	医長
赤木 貴彦	(あかぎ たかひこ)	リウマチ・膠原病科	医長
渡邊 謙太	(わたなべ けんた)	放射線科(治療)	医長

川崎医科大学附属病院 地域医療連携室  
〒701-0192 倉敷市松島577

TEL : 086-464-1567

FAX : 086-464-1166

MAIL : renkei@med.kawasaki-m.ac.jp